

連絡先：自動車交通局技術安全部審査課リコール対策室

TEL：03-5253-8111 内線42353

アドレス：<http://www.mlit.go.jp>

リコール届出一覧表

リコール届出日：平成21年1月27日

リコール届出番号	2247	リコール開始日	平成21年1月28日
届出者の氏名又は名称	ヤマハ発動機株式会社 代表取締役社長 梶川 隆	問い合わせ先：お客様相談室 0120-090-819	
不具合の部位（部品名）	緩衝装置（後輪ショックアブソーバ）		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	後輪ショックアブソーバの下側取付部の強度が不足しているため、走行中の振動等により、当該取付部の溶接に亀裂が発生するものがある。そのため、そのまま使用を続けると当該取付部が破損して車両姿勢が不安定となるおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、後輪ショックアブソーバを点検し、対象となるショックアブソーバが取り付けられているものは当該ショックアブソーバー式を対策品と交換するとともに取付部周辺部品も新品と交換する。		
不具合件数	6件	事故の有無	人身1件
発見の動機	市場からの情報及び国土交通省からの指摘による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	・使用者：ダイレクトメールで通知する。 ・自動車分解整備業者：日整連発行の機関誌に掲載する。 ・改善実施済車には、車わく（車台番号打刻位置付近）にNo.2247のステッカーを貼付する。		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号（シリアル番号）の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
ヤマハ	2JL	ヤマハトルウェイ TW200E	2JL-000101～2JL-070682 昭和62年3月10日～平成11年8月31日	35,732台	
	DG07J	トルウェイ TW200E	DG07J-000011～DG07J-019570 平成12年2月8日～平成13年1月9日	18,082台	
	（計2型式）	（計2車種）	（製作期間の全体の範囲） 昭和62年3月10日～平成13年1月9日	（計53,814台）	

【注意事項】

リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。